

第 55 回 地域協議会（地域医療支援委員会）議事概要

【日 時】令和 2 年 1 月 15 日（水） 19：30～20：30

【場 所】人吉医療センター3階 講堂

【出席者】岐部 明廣（人吉市医師会会長）

山田 和彦（人吉市医師会副会長）

大島 茂樹（公的病院企業長）

犬童 裕成（球磨郡医師会理事）

近藤 浩之（球磨郡医師会副会長）

清水 雅英（人吉市歯科医師会理事）

山村 礼二（球磨郡歯科医師会理事）

河内 謙介（西諸医師会理事）

水間 良裕（伊佐市医師会副会長）

村田 圭介（人吉球磨薬剤師会会長）

劔 陽子（熊本県人吉保健所）

告吉 眞二郎（人吉市健康福祉部部長）

原田 和紀（えびの市健康保険課課長）

末次 美代（学識経験者）

木村 正美（人吉医療センター院長）

下川 恭弘（人吉医療センター副院長）

入部 直子（人吉医療センター看護部部長）

作元 功（人吉医療センター事務部部長）

西山 三智（人吉医療センター総務企画課課長）

久保田 智子（人吉医療センター総務企画課係長）

山田 一裕（人吉医療センター医療福祉連携室）

小田 薫子（人吉医療センター医療福祉連携室）

【欠席者】有菌 良介（伊佐市総務課長）

（敬称略 出席 計 22 名）

【概 要】

一、開会（事務局）

二、院長挨拶

三、議長挨拶

四、議題（議長）

1. 要望・ご意見（球磨郡医師会）

・犬童議員

① 球磨郡医師会にて球磨郡医師会百年史を作成しました。地域の先生方へ配布させてい

ただいております。

- ② ACP の啓発を人吉球磨住民の方を対象に行ってほしい。人吉球磨在宅医療介護連携事業・啓発部会もお手伝いをしていきたいと思っております。

事務局：地域全体で市民公開講座などの啓発活動を行っていきたくと考えておりますのでご協力をお願いします。

- ③ 患者さんが逆紹介で戻ってきたときに。人吉医療センターからの診療情報提供書が届いていない事がある。また、人吉医療センターを退院し数日後に受診される事があるが早すぎるのではないか。入院中に処方の変更になっている場合、逆紹介後、変更理由が分からないことがあるので記載していただくと助かります。

事務局：診療情報提供書への内服の変更理由の記載、診療情報提供書の迅速な作成について、医師だけでなく、看護師・クラーク・MSW へ周知徹底して参りたいと思っております。

犬童議員：退院時には少し多めに退院処方を出していただくなどの対応をしていただくと助かります。

- ④ 公立多良木病院 大島先生が 11 月 10 日（日）の日直中、各地でスポーツの大会が開催されていた。当日人吉医療センターも公立多良木病院も整形外科医が不在であった。「人吉医療センターで診療ができないので多良木で受けてほしい」と下球磨消防署より連絡が入った。1 例目は橈骨骨折であったため労災病院へ紹介。2 例目は熊本市内の患者であったため、「画像診断は可能ですが、処置はできる場合とできない場合がありますが、それでもよろしければどうぞ」と返事をしたところ、直接労災病院へ搬送となった。
人吉医療センターにおいても、整形外科医が不在でも救急外来で診察と画像診断をしてはいかがでしょうか。

大島議員：患者さんが 1 時間くらい行ったり来たりとなってしまったのが大変だったと考えられる症例だったので提示した。

下川議員：同日はある一定時間において整形外科医が全て不在となっていました。電話対応は行っていたが整形外科医がすぐに診察を行える状況になく、整形疾患が疑われる患者さんについては公立多良木病院を含め別の医療機関へ相

談していただくよう対応していた。救急委員会でも検討し、今後は事前に公立多良木病院との調整を行うなどの対応を行っていきたいと考えている。

木村議員：今年当院は、地域の救急医療機関と連携・協力したネットワークを再構築し、そのコントロールタワーとしての役割を果たしていく事が必要と考えている。救急の患者さんの受け入れについては連携を図っていく必要があると考えている。

2. 中核病院の決定について

下川議員：JCHO では地域包括ケアの要として呼ぼう・介護シームレスに質の高い医療を提供する体制の充実・強化に取り組む事が中期目標となっている。その達成を図る指標として、JCHO の病院を中核病院群と補完病院群とに分ける必要があり、そのためには皆さんの承認が必要となっている。

岐部議員：ぜひこれまでのように医療センターには中核病院として担ってもらいたい。その他ご意見はないでしょうか。

→満場一致にて、当院は人吉球磨地域の中核病院として承認された。

3. 当院の紹介入院患者の状況

事務局：データ資料について説明（詳細は別紙参照）

当院入院患者の約半数が地域からの紹介であり、大腿骨骨折や脳血管障害等、当院で急性期治療後は転院という流れが確立しており、地域連携が図られていると考えられる。

DPC および病床機能報告のデータは公開データとして病院名実名で公開されているため、これらのデータを活用することで致行きにおける課題の発見、その課題に対する各病院の対応度が具体的に検討できると考える。今後も地域医療構想検討に貢献できるデータを提供していきたいと考えている。

五、意見交換

テーマ① 地域医療構想について

水間議員：伊佐地域では始良郡と一緒に地域医療構想を検討しているが、始良郡はベッタタウンであり、伊佐市とのねじれが生じている。当地域の中核病院は霧島医療センターとなっている。北薩病院が各地域との連携を頑張ってくれている状況にある。伊佐地域には診療科に限りがあるため、対応が困難な重傷者はド

クヘリなどを使用し、鹿大などに搬送を行っている。

河内議員：現在、診療科目や医療機器の設置状況など各医療機関のホームページ等から情報収集を行っている。医療部会を立ち上げ病床を今後どうしていくかまでは話し合いができていない状況。えびの市の中核病院は当院と京町共立病院となると考えられるが、急患は当院にて対応を行っている。

テーマ② 地域在宅医療サポートセンターの活動について

大島議員：H30年度は必須項目（急変時対応：在宅患者 24 時間受け入れ体制、入退院支援：サポートセンター立ち上げ記念講演会、退院支援に関する研修会、訪問診療等サービス増加：SW などにより取り組み）を行っている。
緩和ケア病棟との研修会、福祉用具の貸し出し事業、訪問診療サービスの強化、人吉医療センターとも共同しながら講演会などをできればと考えている。

テーマ③ 救急医療体制について

事務局：救急車の各医療機関の受け入れ件数について資料を用意。

木村議員：循環器、脳卒中などの疾患は当院へ紹介いただいていると思う。基本的には救急患者の受け入れは断らない方針となっている。急患が立て込んでいるときや、OPE 対応できない場合は断らざるを得ない状況となっている。急性期治療が終わり、状態が落ち着いた後は次の医療機関への転院をスムーズに行える様な体制が必要と考えている。

岐部議員：当院は大学病院より 365 日若い先生に来てもらっており戦力となっているが、全疾患を見ることができないため、棲み分けが必要であると考えている。

大島議員：心カテをしなくなって 5 年、脳外も撤退している状況。今からまた再開する予定はなく、一カ所に治療を集約し機能を分化していかなければいけないと考えている。しかし、地域性を踏まえると、ある程度患者さん（軽症の急性期患者さん）を受け入れできる体制を整えておく必要があると考えている。

テーマ④ くまもとメディカルネットワークについて

事務局：参加者の同意取得、同意取得のシステムが確立したことによりは月 400 名を超えている。施設基準の届け出状況はまだ少ない状況にあるため、届け出の推進をしていきたいと考えている。介護ビューアは他職種にて利用できるチャット機能となっており、設定を行うことで、新着トピックがあった際のメール通知を受け取ることも可能。当院ではケアマネ等との連絡以外にも介護保険の

申請が必要な際に、地域包括支援センターを登録しておくことで、事前に入院中の状況を伝達ツールとしても使用している。

歯科医院においても、服薬状況の確認や口腔ケアについての相談などもシームレスに行う事ができるのではないかと考えている。

今後は健診のデータも閲覧できるようになっている予定となっている。

登録者数も増えているため、今後は活用に力を入れて取り組んでいこうと考えている。

岐部議員：人吉市の地域包括支援センターの所属はどこになるのか。

告吉議員：今後、地域包括支援センターが社会福祉協議会に委託されることとなったため、今回の案内も含め検討していきたいと考えている。

テーマ⑤ 千年カルテについて

事務局：国が認定した匿名加工業者へ医療機関はデータ出力のルールに基づいて、その認定業者へ匿名加工せずに情報を提供する。その後、匿名加工した情報を企業・研究機関などの第三者との間で利用目的に応じ、個別に匿名化された情報を提供。多数の医療機関から情報収集を行い、分散していた情報を統合し、利活用価値の高いデータとすることが可能となる。現在は運用ルールが決まっていないため、実際には情報提供は行っていないが、今後千年カルテの導入を進めていく予定である。

現在、千年カルテのアプリもできている。

六、その他

事務局：「人吉医療センターの2次医療範囲内で、介護医療院は何か所あるのか」水間議員より質問があったため回答します。現在、外山胃腸病院に24床、中央温泉病院に88床となっている。

告吉議員：愛生記念病院が今から介護医療院へ変わっていくと考えられる。

七、閉会